MITSUBISHI

0905871HQ0202

ダクト用換気扇（24時間換気機能付タイプ）〔浴室・トイレ・洗面所用〕

グリル形式	形　名
十字格子タイプ	VD-10ZLC7-S　VD-10ZLCU7-S　VD-13ZLC7-S VD-15ZLC7-S　VD-15ZLPC7-S VD-18ZLSC7-S　VD-18ZLC7-S　VD-20ZLC7-S
インテリア格子タイプ	VD-15ZLC7-CS
インテリアフラットタイプ	VD-13ZLC7-P

取付工事説明書　　販売店・工事店さま用

取付工事を始める前にこの説明書をよくお読みになり、正しく安全に取付けてください。

別冊の「取扱説明書」はお客さま用です。必ずお渡しください。

■取付工事、壁穴工事はお買上げの販売店または専門の工事店さまが実施してください。
■配線工事は電気工事士の方が実施してください。
■この製品は、浴室・トイレ・洗面所・居間・事務所・店舗の天井に取付けてください。それ以外の用途には使用しないでください。故障の原因となります。
■この製品には市販の埋込スイッチ、またはシステム部材のコントロールスイッチが必要です。その他屋外フード等は三菱換気送風機総合カタログにより別途ご用意ください。
■当社以外の電子式スイッチ（半導体制御による速調スイッチ・タイマー等）やホタルスイッチをご使用の場合は組合せ上、不具合の発生するおそれがありますので、ご使用の際はあらかじめ確認ください。
■接続ダクトは外形寸法図に示すダクト径の塩化ビニル管・アルミフレキシブルダクト・鋼板管のいずれかをご用意ください。

安全のために必ず守ること

誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を、次の表示で区分して説明しています。

⚠警告	誤った取扱いをしたときに死亡や重傷などに結びつく可能性があるもの
禁止	●**内釜式風呂を据付けた浴室には取付けない** 排気ガスが浴室内に逆流し、一酸化炭素中毒をおこす原因。 ●**ガス漏れに気付いたときは、換気扇のスイッチの入・切をしない** 爆発や引火の原因。
水ぬれ禁止	●**製品を水につけたり、水をかけたりしない** ショート・感電の原因。
分解禁止	●**改造や必要以上の分解はしない** 火災・感電・けがの原因。
指示に従う	●**交流 100 V を使用する** 火災・感電の原因。 ●**メタルラス張り、ワイヤラス張り、または金属板張りの木造の造営物に金属製ダクトが貫通する場合、金属ダクトとメタルラス、ワイヤラス、金属板とが電気的に接触しないよう取付ける** 漏電した場合発火の原因。
アース確認	●**湿気の多い場所ではアースを確実に取付ける** 故障や漏電のときに感電の原因。

⚠注意	誤った取扱いをしたとき、傷害または家屋・家財などの損害に結びつくもの
禁止	●**浴室内に壁スイッチを設けない** 感電の原因。 ●**直接炎のあたるおそれのある場所や油煙・有機溶剤・可燃性ガスのある場所には取付けない** 火災の原因。
指示に従う	●**本体の取付工事は十分強度のあるところを選んで確実に行う** 落下によりけがの原因。 ●**部品の取付は確実に行う** 落下によりけがの原因。 ●**取付けの際は必ず手袋を着用する** けがの原因。 ●**配線工事は電気設備技術基準や内線規程に従って安全・確実に行う** 接続不良や誤った配線工事は感電や火災の原因。

取付け前のお願い

お願い

24 時間換気機能を得るためには下記点に留意ください。

- ドアのアンダーカット等により空気の流通経路を確保してください。
- 排気口が外風の影響を受ける場所（高層住宅等）には取付けないでください。風量が低下し、換気量が不足するおそれがあります。

取付場所

- 浴室など湿気の多い場所では、グリルから水滴が落ちても不快にならない場所に取付けてください。

取付け

- プラスチックボディタイプダクト用換気扇及びダクト用システム部材の使用については、地区により異なった規制を受ける場合がありますので、あらかじめ所轄の官公庁（特に消防署）にご相談ください。
- 高温（40℃以上）になるところには取付けないでください。
- 温泉には取付けないでください。腐食（落下）、漏電（感電）、早期故障の原因となります。
- 業務用 24 時間風呂のような常時湿気のある場所では寿命が短くなる場合があります。
- 浴室などの湿気の多いところに取付ける場合は漏電ブレーカーを取付けてください。
- 効果的な換気を行うために給気口を設けてください。
- 傾斜天井には取付けないでください。シャッター開閉不良、振動、異常音の原因となります。

天井・ダクト工事

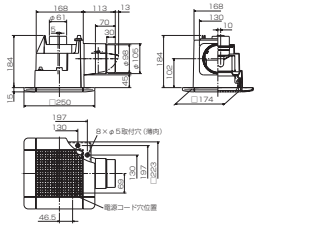
- 天井板は、振動・共鳴音防止のため強度のあるものをご使用ください。
- 排気ダクトは雨水の浸入やドレン水の逆流を防ぐため屋外に向けて 1 /100 以上の下り勾配をつけてください。
- 排気ダクトの先端には、鳥などの侵入を防ぐためのベントキャップ、または雨水の浸入を防ぐための深形フード、外風が強いところでは耐外風フードなどのシステム部材を取付けてください。
- 次のようなダクト工事はしないでください。風量低下や異常音発生の原因になります。

● 極端な曲げ　● 多数の曲げ　● 吐出口のすぐそばでの曲げ　● しぼり

外形寸法図

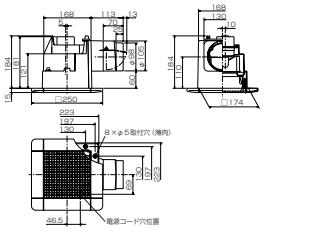
■ VD-10ZLC7-S　ダクト径 φ100㎜　埋込寸法 □180㎜（野縁高さ 40㎜以下）

単位（㎜）



■ VD-10ZLCU7-S　ダクト径 φ100㎜　埋込寸法 □180㎜（野縁高さ 45㎜以下）

単位（㎜）

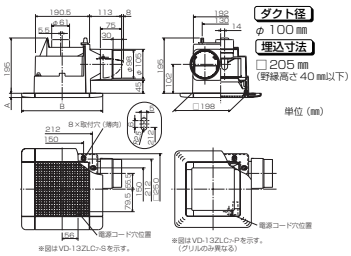


■ VD-13ZLC7-S
■ VD-13ZLC7-P

単位（㎜）

形　名	A寸法	B寸法
VD-13ZLC7-S	15	□286
VD-13ZLC7-P	17	□270

ダクト径 φ100㎜　埋込寸法 □205㎜（野縁高さ 40㎜以下）

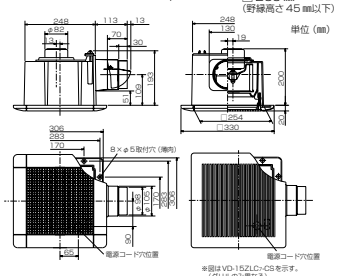


※図は VD-13ZLC7-S を示す。
※図は VD-13ZLC7-P を示す。（グリルのみ異なる）

■ VD-15ZLC7-S
■ VD-15ZLC7-CS
■ VD-15ZLPC7-S

ダクト径 φ100㎜　埋込寸法 □260㎜（野縁高さ 45㎜以下）

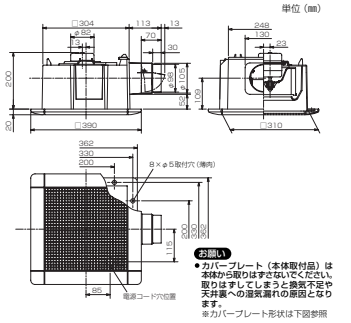
単位（㎜）



※図は VD-15ZLC7-CS を示す。（グリルのみ異なる）

■ VD-18ZLSC7-S　ダクト径 φ100㎜　埋込寸法 □315㎜（野縁高さ 45㎜以下）

単位（㎜）

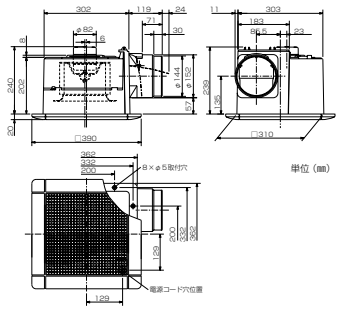


お願い
- カバープレート（本体取付品）は本体から取りはずさないでください。取りはずしてしまうと換気不足や天井裏への湿気漏れの原因となります。

※カバープレート形状は下図参照

■ VD-18ZLC7-S
■ VD-20ZLC7-S　ダクト径 φ150㎜　埋込寸法 □315㎜（野縁高さ 45㎜以下）

単位（㎜）



付属部品

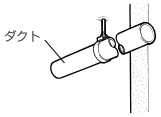
	木ネジ（ステンレス製）
VD-10ZLC7-S　VD-10ZLCU7-S VD-13ZLC7-S,-P　VD-15ZLC7-S,-CS VD-15ZLPC7-S	6本
VD-18ZLSC7-S　VD-18ZLC7-S VD-20ZLC7-S	9本

取付方法

※天吊金具を使用される場合は“天吊金具を使用する場合”をご覧ください。

取付手順例：1 ダクト工事 → 2 野縁工事 → 3 ダクト接続 → 4 本体の取付け → 5 電気工事 → 6 天井材を張る → 7 グリルの取付け

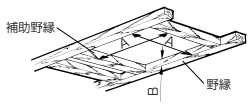
1 ダクト工事



壁排気穴から本体のダクト接続口までダクト配管する。

- ダクトは本体に力が加わらないよう天井より吊る。

2 野縁工事



単位（㎜）

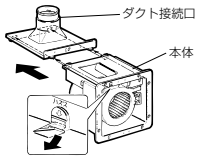
タ　イ　プ	A寸法	B寸法
VD-10ZLC7-S	180	40
VD-10ZLCU7-S		45
VD-13ZLC7-S,-P	205	40
VD-15ZL(P)C7-S	260	45
VD-15ZLC7-CS		
VD-18ZL(S)C7-S	315	
VD-20ZLC7-S		

内寸がＡ寸法、高さがＢ寸法以下になるよう天井の野縁と補助野縁で取付枠を組む。

メモ
- 野縁高さをＢ寸法以上で取付けるとシャッター開閉不良、異常音の原因となります。

3 ダクト接続

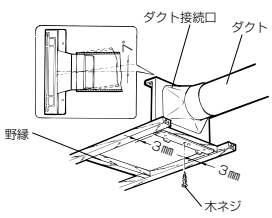
1



ダクト接続口の取りはずし

- 本体内側のツメを矢印の方向に押えながらダクト接続口を左図のように本体から取りはずす。

2



ダクト接続口の固定

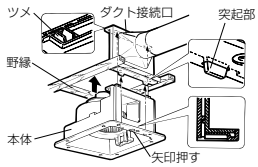
（1）ダクト接続口をダクトに差し込む。
（2）ダクト接続口のフランジ部を野縁に密着させて付属の木ネジ 1 本で野縁の中央に固定する。
（両サイドに 3 ㎜ほどのすき間があきます）

- VD-18ZLC7-S, 20ZLC7-S はダクト接続口を野縁の角に合わせて、すき間がないよう付属の木ネジ 1 本で固定する。
- 塩化ビニル管と接続する場合、ダクト方向の微調整が可能です。（全方向 7°）

お願い
- ダクト接続を市販のネジなどで行う場合はシャッターの開閉に支障のないよう注意してください。

4 本体の取付け

1

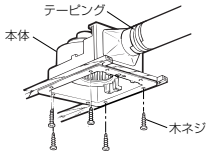


本体の差し込み

（1）本体を野縁にそって差し込む。
（2）ダクト接続口とのはめ込みは、本体上部のツメをダクト接続口の角穴に、下部はダクト接続口の突起部を本体下部の角穴にはめ込む。
- 本体フランジ部にある矢印付近を押すと「パチン」と音がしてはめ込まれます。

お願い
- 羽根を持って本体の取付けを行わないでください。（本体に羽根があたり、異常音の発生や羽根破損の原因となります。）

2



本体の固定

（1）本体がダクト接続口に密着していることを確認してから、付属の木ネジ5本（VD-18ZLSC7-S, VD-18ZLC7-S, VD-20ZLC7-S は8本）で本体をすき間のないようにしっかり固定する。
- 取付穴はすき間防止のため、薄肉がついていますのでネジ締付けの際、ネジ先端で薄肉部を突き破ってください。（VD-18ZLC7-S, VD-20ZLC7-S を除く）

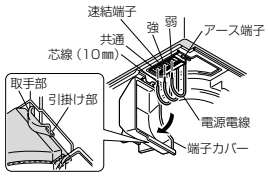
（2）風漏れのないよう市販のアルミテープ等でダクト接続部をテーピングする。

5 電気工事

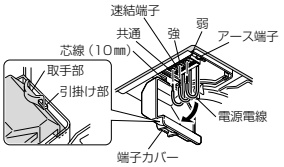
■電線同士の接続や接地工事を行う場合は電気工事士の方が「電気設備に関する技術基準を定める省令（及び同解説）」及び「内線規程」に従い実施してください。

1. 本体上部のゴムブッシュより電源電線（屋内配線 VVF ケーブルφ 1.6、φ 2）を通す。
2. 端子カバーの取手部に指を掛け、下に引いて端子カバーを開け、速結端子に皮むきした芯線を確実に奥まで差し込む。（結線図参照）
3. 浴室など湿気の多いところで使用する場合は、アース端子を使用して必ずD種接地工事を行う。
4. 浴室など湿気の多いところで使用する場合は、漏電ブレーカーを取付ける。
5. 端子カバーを元通り取付ける。
「パチン」と音がするまで押し込み、端子カバーが引掛け部に確実に固定されていることを確認する。

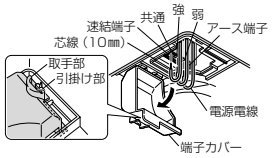
■ VD-10ZLC7-S
■ VD-10ZLCU7-S
■ VD-13ZLC7-S
■ VD-13ZLC7-P



■ VD-15ZLC7-S
■ VD-15ZLC7-CS
■ VD-15ZLPC7-S
■ VD-18ZLSC7-S

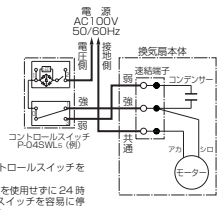


■ VD-18ZLC7-S
■ VD-20ZLC7-S



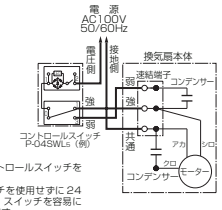
結線図（太線部分を結線する）

■ VD-10ZLC7-S
■ VD-10ZLCU7-S



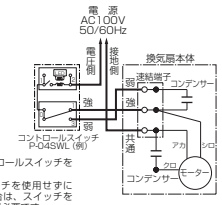
※定格 0.5A-300V のコントロールスイッチを使用ください。
※右記コントロールスイッチを使用せずに 24 時間換気運転する場合は、スイッチを容易に停止されない工夫が必要です。

■ VD-13ZLC7-S
■ VD-13ZLC7-P
■ VD-15ZLC7-S
■ VD-15ZLC7-CS
■ VD-15ZLPC7-S

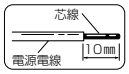


※定格 0.5A-300V のコントロールスイッチを使用ください。
※右記コントロールスイッチを使用せずに 24 時間換気運転する場合は、スイッチを容易に停止されない工夫が必要です。

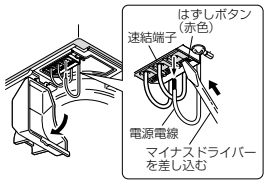
■ VD-18ZLSC7-S
■ VD-18ZLC7-S
■ VD-20ZLC7-S



※定格 4A-300V のコントロールスイッチを使用ください。
※右記コントロールスイッチを使用せずに 24 時間換気運転する場合は、スイッチを容易に停止されない工夫が必要です。



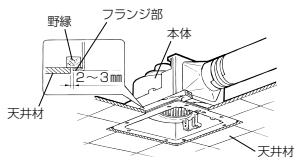
電源電線をはずす場合



メモ
- ランプ付コントロールスイッチを使用される場合、「強」・「弱」切り替えでランプの明るさが異なりますが異常ではありません。

お願い
- 電気結線を間違えますとモーターが故障します。誤結線によるモーター故障の場合、サービス費用（交換部品代含む）はお客さま負担となりますので結線図を十分確認の上、結線してください。
- 取付・点検・修理時に電線の皮むき部に手を触れないでください。コンデンサーの帯電により感電するおそれがあります。
- 電源電線の外皮は 70 ㎜以上皮むきしてください。
- 電線被ふくは 10 ㎜皮むきしてください。端子カバーに刻印されている皮むき寸法図に合わせて、皮むきしますと便利です。（10 ㎜以上むくと漏電の原因になります）
- より線を結線する場合は、棒状圧着端子（市販品）をより線に取付けてから速結端子に確実に差し込んでください。
- 電源電線は接続部に力が加わらないよう本体付近で約 150 ㎜たるませてください。
- アース工事の際は、単線φ1.6 またはより線 1.25 ㎟をご使用ください。（圧着工具は日本圧着端子製 YHT-2210 をご使用ください。）
- 電源電線を速結端子よりはずす場合は、マイナスドライバーで速結端子のはずしボタン（赤色）を押しながら電源電線を引っぱってはずしてください。

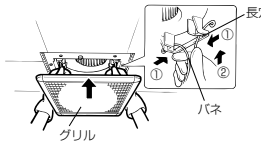
6 天井材を張る



（1）天井材を張る。
（2）本体のフランジ部分と天井材とは必ず2～3㎜のすき間があくよう角穴をあける。

お願い
- 天井材の厚さは 25 ㎜以下で施工してください。（グリルが天井材に密着しない場合があります。）

7 グリルの取付け



（1）グリルの2つのバネを両手で持ち、長穴に差し込む。
（2）手を放し軽くグリルを押し上げ天井材に密着させる。

グリルが天井に密着しない場合 ……CS タイプは高さ調節ができます。
天井材の板厚が薄いときはバネを下側に付け替える。

上側の取付（工場出荷時）

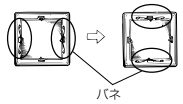
下側の取付

①バネ引掛金具をペンチなどで開き、バネを外す。

②開いたバネ引掛金具にバネを差込み閉じる。

グリルの方向を変更する場合 ……CS タイプは天井材に合わせてグリルの方向が変わります。

（1）バネ引掛金具をペンチなどで開いてバネを外す。
（2）バネの位置を 90° 変更して取付け、バネ引掛金具を閉じる。
- バネの高さは元と同じ引掛け高さにする。



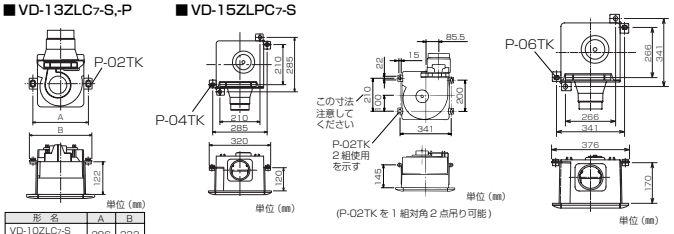
天吊金具を使用する場合

野縁に強度がない場合は天吊金具を使用して取付ける方法も兼用してください。

1

下図の位置にあらかじめ市販の吊りボルト（M8）を埋め込む。

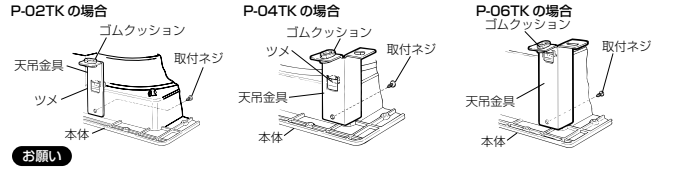
■ VD-10ZLC7-S
■ VD-10ZLCU7-S
■ VD-13ZLC7-S,-P
■ VD-15ZLC7-S
■ VD-15ZLC7-CS
■ VD-15ZLPC7-S
■ VD-18ZLC7-S
■ VD-20ZLC7-S
■ VD-18ZLSC7-S



形 名	A	B
VD-10ZLC7-S VD-10ZLCU7-S	206	233
VD-13ZLC7-S,-P	230	257

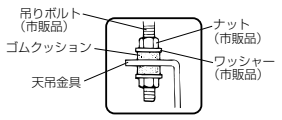
2

システム部材の天吊金具のツメを本体に引っ掛けて、内側から取付ネジで固定する。



お願い
- P-04TK, P-06TK の場合、必ずダクト接続口を先に取付けてから天吊金具を取付けてください。逆の場合はダクト接続口が取付けられません。

3



本体が水平になるように天吊金具を吊りボルトに取付け、ナットがゆるまないようワッシャー・ナットにて確実に固定する。

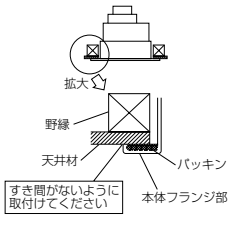
天井材の下に本体フランジを取付ける場合

お願い

本体の取付けは天井材と本体フランジ部との間にすき間がないように取付けてください。
（天井材と本体フランジ部が密着しないと天井面とグリルの間にすき間が生じる場合があります）

■パッキン材を使用する場合
- 天井材と本体フランジ部の間にパッキン材を使用する場合は薄いもの・軟らかいものを使用し、取付状態ですき間がないようにしてください。

■補強板を使用する場合
- ユニットバスに設置する場合などで、天井面と本体フランジ部との間に補強板を入れる場合には、その部分の厚さが 1 ㎜以下のものをご使用ください。



試運転

取付工事が終わりましたら次の確認をしてください。

1. コントロールスイッチにて正常な運転ができますか？
2. 振動・異常音はありませんか？

この説明書は、再生紙を使用しています。

三菱電機株式会社
中津川製作所 〒508−8666 岐阜県中津川市駒場町1番3号 電話0573−66−2111